

# リリースノート - Ki Pro Rack v6.0

## Firmware update for Ki Pro Rack

### 全般

---

このファームウェアアップデートは、Ki Pro Rack の機能改善と機能拡張を含みます。

機能と設定、および更新についてはクイックスタートガイドとインストレーション&オペレーションユーザーガイドを参照してください。(これらのドキュメントは、[www.aja.com](http://www.aja.com) で入手することができます)

### 機能拡張と改善点

---

- ・ クローズドキャプションの録画と再生が CEA 708 をサポートするように拡張されました。それは HD ProRes 720p 59.94 と 1080i 59.94 のみの対応です。
- ・ クローズドキャプションの録画と再生が CEA 608 をサポートするように拡張されました。それは SD ProRes 525i 59.94 のみの対応です。
- ・ 制限：Avid DNxHD コーデックと ProRes コーデックの任意のフレームレートおよび PAL のフレームレートは Ki Pro Rack でのクローズドキャプションの録画と再生をサポートしていません。
- ・ 制限：ファイルに記録されたクローズドキャプションを使用するには Ki Pro Rack からノーマル再生を行う必要があります。
- ・ 制限：外部ソースのクリップがクローズドキャプションを含んでいると Ki Pro Rack と互換性がなく再生できない場合があります。それはFCP X、FCP 7、Avid Media Composer、Adobe Premiereでの作成されたクリップを含みます。
- ・ Web UI のプレイリスト機能を 25個以上のプレイリストをブラウザ上でスクロールできるように拡張しました。(以前は 25個までがスクリーンに表示できる上限でした。)

## 使用上の注意点

---

- ・ファームウェアのアップデートを行う前に、CONFIG メニューで工場出荷状態にリセットすることをお勧めします。
- ・ファームウェアのアップデートを行った場合、Web ブラウザと Ki Pro Rack との接続は解除されます。再接続を行うには、ウェブブラウザのページをリロードしてください。
- ・Ki Pro Rack で収録したクリップを Final Cut Pro 7 に読み込んだ場合、「最適化されていない」旨のダイアログが表示される場合がありますが、これらのクリップは問題なく Final Cut Pro 7 で使用できます。
- ・Ki Pro Rack で収録中にファームウェアのアップデートを行わないでください。アップデートを実行する前には Ki Pro Rack が停止状態にあることを確認してください。